

# 市町連だより

しちょうれん



第50号

令和4年4月1日

発行責任者

千歳市町内会連合会

会長 沼田常好

北海道千歳市東雲町1丁目

10番地 東雲会館 1階

TEL:0123-49-7100

印刷：千歳印刷株式会社

## 令和3年度 市町連要望

令和3年度市町連要望については、コロナ禍にあって昨年度に引き続き、各町内会・自治会からの要望事項や最終的な市町連要望の整理について、主に理事会メンバーにおいて感染予防対策を実施しながら検討し、取りまとめを行いました。



各町内会・自治会からの個別の要望事項については、令和3年7月に取りまとめを依頼し、最終的に27団体から6分野50項目の要望が寄せられました。

①ごみステーションの補修、ごみの収集方法等9項目、②公園設備の補修、コミュニティセンター等の施設整備・管理12項目、③道路の補修・整備等4項目、④避難所ごとの防災組織の設置、街路灯の設置等7項目、⑤道路標識の設置、通学路の交通安全対策等16項目、⑥市職員の町内会活動への参加奨励等2項目。

これらの個別要望については、8月23日の理事会において確認を行い、市に回答を求めたところです。例年は、9月に開催する理事会において市担当職員が回答内容について説明を受けていましたが、コロナ禍の影響から文書による回答とし、9月15日付けで市から回答書が提出されました。

市町連としての要望については、各町内会・自治会からの個別要望への回答を踏まえ、10月11日開催の理事会において5分野6項目の要望書を取りまとめ、10月19日に山口市長に提出しました。

1 施設整備について 中心街コミュニティセンターの閉館に伴う代替施設の設置及び代替機能の導入等、未設置地区におけるコミュニティセンターの新設



2 生活環境の整備について ごみステーションの管理、回収ボックスの設置などにおける町内会未加入者との不公平感の是正等

3 防災・防犯について 避難所運営の役割分担の明確化と開設訓練等の実施

4 交通安全対策について 歩道、ガードレール、ハンプの設置と交通規制標識等に係る北海道公安委員会への継続要望

5 その他 ICT活用等の町内会活性化に資する事業の継続、コミセンにおけるパソコンやWi-Fiの設置

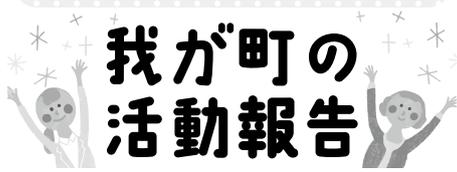


市町連要望の回答については、11月19日に山口市長はじめ市職員の皆様にご出席をいただき回答説明会（理事会）を開催しました。（資料は各町内会・自治会に送付済み）。

中心街コミュニティセンターの閉館に関しては利用者は他の公共施設を活用いただきたいとされたこと、未設置地区のコミュニティセンター新設に関しては整備に向けて一定の年数を要すること、ごみステーションの管理等に関しては市民協働によるゴミステーションの適正管理に取り組み町内会の負担軽減に努めること、避難所運営等に関しては定期的な訓練実施を促し助言や支援等を行うこと、交通安全対策に関しては関係官庁に要望を継続し、市が整備する歩道やガードパイプ等の設置について適切に対応すること、町内会活性化についてはコロナ禍やデジタル化社会の進展などを踏まえ必要な支援に努めていくことなどが説明されました。

今後、回答内容の経過について、実施状況等の把握に努めてまいります。

町内会・自治会からの声の欄



# 我が町の活動報告

## #春日町3丁目町内会

### 1. 紹介

春日町3丁目は青葉公園や図書館、スポーツセンターに隣接し中心街にも近く利便性が良いため近年マンション建設が進み人口が増加している地域です。町内会は加入世帯数が約100の小規模町内会でマンションと戸建住宅比率が6：4の町内会です。活動は、福祉や環境衛生、防犯防災等コミュニティ活動と会員間の親睦活動を2本柱としていますが、今年度は新型コロナのために多くの親睦活動を中止しました。

### 2. 町内会活動

#### (1) 町内会活動の考え方…写真1

毎日、顔を合わせる。挨拶をする。そういう活動が会員間の相互理解、信頼を促進し、コミュニティ活動の基礎となると位置づけ「スポーツセンター毎朝ラジオ体操会」「千歳っ子見守り隊」活動を継続しています。

また、年間3回の募金活動は、なるべく会員同士が対面することの意義を重視して、面倒くさくはあるものの戸別募金方式を採用しています。



写真1 スポーツセンター駐車場で毎朝ラジオ体操を実施

#### (2) 後期活動の具体例

##### ア 町内会除雪支援活動…写真2

ひとり暮らし世帯及び高齢者世帯の除雪支援を実施しました。除雪希望世帯と支援員のマッチングを図り、各人が積雪の状況を見て除雪を実施しました。例年にない大雪に見舞われた今年は、これまで20回近く除雪を実施した人もいました。



写真2 高齢者宅の玄関から道路まで除雪をする支援員

##### イ 町内会費還元特別事業…写真3

新型コロナのため、多くの親睦活動を中止したことから予算の余剰が発生しました。来年度の会費を免除する案もありましたが、消極策は町内会の衰

退につながることから会費還元特別事業を実施しました。町内会役員が各家庭を訪問し、還元品として「千歳市指定ごみ袋と高性能マスク」を配布しました。対面できた会員に対しては、町内会への協力に感謝申し上げるとともに、高齢者世帯では安否確認も行いました。



写真3 会員宅を訪問して会費還元品を手渡す町内会役員

#### (3) 今後の課題

##### ア 活動への参加促進

町内会活動への参加者が固定され、それが役員の固定化、高齢化という問題になっています。

住民の構成や生活環境が変化し、冠婚葬祭等旧来の役割が消滅した今、地域コミュニティの新たな役割と多くの住民が参加し相互理解が図れる活動を模索しなければなりません。

##### イ 広報活動

町内会活動の成果と今後の予定を入れた「町内会だより」を毎月発行し、回覧するとともに町内会掲示板と各ごみステーションに掲示しています。また、町内会ホームページにもアップしています。今後はSNSの活用が課題と考えています。

令和3年度

## 北海道ブロック町内会活動研究大会実践報告

『白樺町内会の活動(町内会活性化事業)』を報告しました。

令和3年10月29日、北海道町内会連合会主催による町内会活動研究大会(北海道ブロック)が道内各地から300名を超える視聴を得てオンライン形式により開催されました。

千歳市の報告では、平成30年度から令和2年度まで実施した町内会活性化支援事業の概要に併せ同事業で実施した白樺町内会の「ホームページ回覧板」の取組について紹介しました。



令和3年度 ブロック別町内会活動研究大会

## ～令和4年度市民防災講座～ 地域防災リーダー養成講座のご案内

千歳市の主催により地域防災リーダー養成講座が開催されます。町内会においては自主防災活動のさらなる活性化が期待されており、核となる人材の育成を図る目的で開催されます。詳細・参加申込みは千歳市危機管理課(電話24-0144)まで。

- ・第1回 令和4年6月24日(金)又は25日(土)  
鉄東コミュニティセンター
- ・第2回 令和4年7月15日(金)又は16日(土)  
北新コミュニティセンター
- ・第3回 令和4年7月22日(金)又は23日(土)  
泉沢向陽台コミュニティセンター

各開催日の金曜日から土曜日のどちらかで申し込みください。各日、午前9時から開講します。

女性部会秋季研修会  
講座開催

# 元気アップ



～コロナ禍のココロとカラダの整え方～



11月24日、北ガス文化ホールにて女性部会秋季研修会を開催しました。

笑華尊塾代表 塩谷隆治 氏を講師にお招きし『元気アップ ～コロナ禍のココロとカラダの整え方～』と題して講演をいただいたものです。コロナ禍の中、収容人員が多く離隔距離など感染対策がしやすい中ホールにて72名が参加する研修会となりました。

講師からは、教師時代に怒ってばかりいた自分に悩み、先輩や様々な人との関わりを通じて信頼しあうことの大切さを学んだ心の移り変わりなどの経験談が紹介されました。特に、「人生最大の罪は不機嫌である」といった先人の言葉を引用し、職場や地域においてチームの可能性を引き出すのは明るさであり、笑顔で明るく接することが人同士のコミュニケーションを豊かにするとともにお互いの心を平静に保つ鍵になることが講義されました。



ために、青空を見上げて気持ちを切り替えること、深呼吸をすること。自分を整える言葉の使い方として、大変な時は「大変やったー！」と声を出すこと、何かのせいにして後悔するタラレバ言葉ではなく良い方向に考えるカラコソ言葉を用いること、カゲグチが気になる時は自らはカゲホメを実行することなど。

講師の楽しくパワフルな講義に会場は笑いが途絶えず、講演後も、講師の著作へのサイン会が開かれるなど、参加者が大きな元気をいただく一日となりました。



科学的に立証された元気になる方法もいくつか紹介されました。元気のスイッチを入れるために、とにかくはじめてみる(身体を先に動かす)、楽しいことがない時でも笑うこと。心を平静にする



コラム

## コミセン

## 中心街コミュニティセンター終了式

昭和57年12月に設置された中心街コミュニティセンターの閉館(令和4年3月)に伴い2月末をもって利用が終了となることから、「中心街コミュニティセンター終了式」を執り行いました(2月26日)。本来であれば関係の皆様をお招きし盛大にお別れの会を開催するところですが、コロナ禍の中、中心街コミュニティ協議会並びに町内会連合会の代表者が集まり、これまでの華やかな思い出を語り、惜しみながら大切な集いの場所にさよならを告げました。



事務局  
通信

# 町内会ICT活用 基礎セミナーを開催しました。

～町内会自治会活動のための情報通信技術の基礎体験講座～

市町連では令和3年度に「町内会活動ICT活用支援事業」(千歳市補助)に取り組んでおり、基礎セミナー、実践セミナーなどを実施していますが、1月22日、特に町内会活動で活用が期待されるICT(情報通信技術)の実践例について全体セミナーを開催しました。

9町内会から14名の参加があり、町内会専用のメールアドレスの作成、Zoomによるオンライン会議の体験、

各町内会ホームページ(市町連ホームページと連携)の仕組みなどについて、実際にパソコンを用いて体験研修を行ったものです。

各参加者は、パソコンの技術を高めたい、町内会でオンライン会議を取り入れてみたいなど、様々な理由で参加されており、いくつかの町内会はホームページの立ち上げを見込んで講義を受けていました。



## 参加者の声

文京町内会 浅井総務部長さん

「町内で必要のない回覧がある、回覧板が来ていないなどの意見があり、全戸配布を検討する中で、配布数低減のためホームページに回覧文書を掲載し、希望する世帯のみへの紙文書配布を模索しています。セミナーはその一歩で、4月からホームページを開設、当面は電子回覧と書面回覧を併用し、その後アンケートを実施して回覧板の手法について判断することとしています。」

回覧削減

## ホームページとライン 公式アカウントの活用

ホームページを立ち上げた町内会ではライン公式アカウント(以下「ライン」と言います。)を併用して情報発信する例が増えています。ホームページに回覧や活動報告を掲載した時点で友だち登録した会員にラインで通知しています。ホームページの記事は自身で閲覧しようとしなければ確認できませんが、自動的に会員のスマホやタブレットにお知らせする機能を持っているSNS(社会的ネットワークサービス)を活用して情報を素早くお知らせしようとするものです。



ラインによる通知は災害時の緊急情報の発信にも活用できます。現在、市町連が把握しているだけでも白樺、住吉北、ゆうまい、豊里、幸福の各町内会がラインでの情報発信を行っています。また、住吉北町内会ではラインの画面に利用頻度の高いサイトをリンク(ラインのリッチメニュー機能)するなど、利用者の利便に配慮した活用もされています。このほか幸福町内会ではホームページ掲載とライン通知を前提に紙による回覧板を廃止しているところですが(希望者のみ紙による回覧を継続)、世帯数の約7割の会員がライン登録を行い回覧板情報を受け取っており、令和4年度総会ではリサーチ機能を使って出席できない会員の委任状の確認にも活用されています。

## ホームページについて

市町連では、ホームページを開設しています。各町内会(みどり台南、春日町3丁目、文京1丁目、末広中区、白樺、住吉北、富丘2丁目、北栄南、ゆうまい、本町、稲穂、豊里、幸福、みどり台北、文京)もホームページを開設して市町連のホームページとリンクしています。ホームページ開設については市町連事務局まで(49-7100) URL: <https://chitose-choren.jp/>



## 市町連ライン公式アカウント

市町連ホームページの掲載情報や災害時の緊急情報等をお知らせします。是非、友だち登録をお願いします。



## 編集後記

一面雪だらけだった公園にも春を待ちきれない子供たちの足跡がくっきり、うず高く積まれた除雪作業本当にお疲れ様でした。

弥生3月以降、日に日に気温も上がり北海道にも春の匂いを感じる季節になりますが皆さんはいかがですか? 依然としてコロナ禍は続いており、年度末からは総会の開催など忙しくされていると推察しますが、まずはコロナ感染拡大防止の3回目のワクチン接種を忘れずに身の安全を優先して下さいね。

市町連事務局も東雲会館に移転しました。ウィズコロナ、アフターコロナを見据え「町内会活性化セミナー」「ICT活用支援事業」「機能別防災訓練」など、これからの町内会のあり方含め活動の支援に努めてきました。これからも過去にこだわらず、柔軟にカスタマイズしていきますので皆様のご協力をお願いします。